

Fukuoka City Public Library Movie Hall

## Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

シネラ・ニュース  
February・March 2025

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟(FIAF)は  
映画の保存を目的とする国際団体です。  
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

2.3

企画上映

Gran Retrospectiva de Cine Mexicano

## メキシコ映画の大回顧

パンチョ・ビリャと進め  
©FILMOTECA UNAM'S COLLECTION主催：福岡市総合図書館、映像ホール・シネラ実行委員会、国立映画アーカイブ、  
メキシコ国立自治大学 (UNAM) フィルMOTECA、  
メキシコ・シネテカ・ナショナル、メキシコ映画機構 (IMCINE)

企画上映

アーカイヴ・コレクション Part 18

井土紀州 and/or  
スピリチュアル・ムービーズ

雲がくれ

ホセ・リサール

イベント上映

2024年度  
福岡アジア文化講演会  
「ホセ・リサール」上映+講演霧  
アーカイヴ  
発見  
「霧」上映+  
ホセ・バラド(ドク・ペルー)監督来場

メキシコ映画の大回顧

アーカイヴ・コレクション Part 18 井土紀州 and/or スピリチュアル・ムービーズ

◎観覧料：大人＝600円／大学生・高校生＝500円／中学生・小学生＝400円  
福岡市在住の65歳以上の方・「わたすクラブ」会員＝300円(要証明書・会員証原本提示)  
障がい者の方および介護者の方1名＝300円(要証明書提示)

2024年度福岡アジア文化講演会

2/24(月休) 14:00(井土紀州 and/or スピリチュアル・ムービーズ内)

◎特別料金／イベント紹介欄に詳細記載

アーカイヴ発見

◎観覧料：大人＝500円／大学生・高校生＝400円／中学生・小学生＝300円  
福岡市在住の65歳以上の方・「わたすクラブ」会員＝250円(要証明書・会員証原本提示)  
障がい者の方および介護者の方1名＝無料(要証明書提示)

◎定員(242席、車椅子席4席)・各回入替制／当日券のみ・各回上映の1時間前から販売



# メキシコ映画の大回顧


会期：1月29日(水)～2月22日(土) ※休館日・休映日除く  
 1930年代から80年代までのヴァラエティに富んだメキシコ映画の世界！福岡会場では17プログラムを一挙上映します。  
 主催：福岡市総合図書館、映像ホール・シネラ実行委員会、国立映画アーカイブ、メキシコ国立自治大学(UNAM)フィルムoteca、メキシコ・シネテカ・ナショナル、メキシコ映画機構(IMCINE) ©すべてDCP・日本語字幕付き上映

**2/1 主 11:00** **2/13 本 14:00** **La mujer del puerto**  
 父の死と恋人の浮気によって絶望の淵に追いやられた田舎娘ロザリオ(パルマ)は、娼婦となり生き別れの兄を探すのだが…。メキシコ映画のトーキー時代における最初の「国民的映画」とも評される作品。



監督：アルカディ・ポイトレル  
 ラファエル・セビリャ  
 原案：ギイド・モーパッサン  
 1934 / 76分 / 白黒

**1/29 水 11:00** **2/21 金 11:00** **¡Vámonos con Pancho Villa!**  
 黄金期の巨匠、フェルナンド・デ・フェンテス(1894-1958)の「メキシコ革命3部作」の最終作で、メキシコ革命で大統領の独裁に立ち向かった英雄パンチョ・ビリャを描いた一大叙事詩。



監督・共同脚本：フェルナンド・デ・フェンテス  
 1936 / 88分 / 白黒

**2/6 木 11:00** **2/22 土 14:00** **La mujer de nadie**  
 ジャーナリストから俳優に転じたアデラ・セケリョ(1901-92)が製作、脚本、主演を兼ねた初監督作。継父から暴力を受けていたアナ・マリア(セケリョ)は家を脱出し、ボヘミア的な共同生活を送る3人のアーティストに保護されるが、やがて彼らの関係は複雑な恋物語へと発展する。



監督・脚本・出演：アデラ・セケリョ  
 1937 / 82分 / 白黒

**1/29 水 14:00** **2/22 土 11:00** **Distinto amanecer**  
 メキシコ映画黄金期の初期を飾るフィルム・ノワールで生涯に40本以上の長篇を手がけたアリオ・ブラチョ(1909-78)の代表作。落ちぶれた作家(ガラン)と結婚生活を送る女(ルルマ)が、黒眼鏡をかいた怪しい男に追われる労働組合員(アルメンダリス)との再会に胸を踊らせる。学生時代の元恋人を助けた一心で、彼女はメキシコシティの裏社会に足を踏み入れるが…。



監督・共同脚本：アリオ・ブラチョ  
 1943 / 107分 / 白黒

**2/9 日 11:00** **2/19 水 14:00** **María Candelaria**  
 貧しいインディオの娘、マリア・カンデラリア(デルリオ)が辿った悲劇の運命を、彼女の美しさに魅了された画家(ガラン)が回想する。メキシコ映画黄金期を代表する監督のエミリオ・フェルナンデス(1904-86)は、ハリウッドでサム・ペキンパー監督作品を筆頭に存在感を發揮したメキシコ人俳優としても名高い。



監督・原作・共同脚本：エミリオ・フェルナンデス  
 1944 / 98分 / 白黒

**1/30 本 14:00** **2/16 日 11:00** **Los olvidados**  
 ルイス・ブニエール(1900-83)がメキシコで撮った3本目の作品。不良少年たちを中心とする貧困層の人々の生きざまを描いて異才の復活を印象づけ、カンヌ国際映画祭監督賞を受賞した。本特集では1996年にUNAMフィルムotecaで発見された約3分のエンディング・フッターを併せて上映。



監督・共同脚本：ルイス・ブニエール  
 1950 / 84分 / 白黒

**2/5 水 11:00** **2/15 土 11:00** **¡Ay amor... cómo me has puesto!**  
 粗野なパン配達人(ティンタン)は事故をきっかけに大富豪の娘と恋に落ちるが、困窮(ころう)な娘の家族は彼を快く思わない。メキシコ映画において、カンティン・フランスと並んで重要な喜劇俳優のティンタンは、1930-40年代のメキシコ系アメリカ人によるカウンターカルチャー「パチューコ」を体現する存在として現れる。



監督・共同脚本：ヒルベルト・マルティネス・ソラレス  
 1951 / 87分 / 白黒

**2/7 金 11:00** **2/16 日 14:00** **Muchachas de uniforme**  
 ドイツ映画「制服の処女」(1931、レオンティーネ・ザーガン)およびその原作の翻案。16歳で修道女学校に入れられたマヌエラ(ディアアン)。戒律に則った修養に息苦しい日々を送るが、若き教師ルシラ(ロペス)は彼女に読書の愉しみを教え、人生の指針を与えていく。



監督：アルフレド・クレベンナ  
 1951 / 102分 / 白黒

**2/6 木 14:00** **2/11 火・祝 11:00** **Trotacalles**  
 売春婦とブルジョワ家庭の妻という対極的な立場に身を置く姉妹の姿を通して、階級対立や男性社会による女性擯取の問題を描き出したマティルデ・ランダタの代表作。ランダタは「愛動的な女性の歴史ではなく、人生において何事かを成し遂げた女性の歴史を作りたかった」と語っている。



監督・共同脚本：マティルデ・ランダタ  
 1951 / 98分 / 白黒

**1/30 本 11:00** **2/15 土 14:00** **Sensualidad**  
 ダンサーのアウトローは出所後に自分を裁いた判事と偶然出会い、復讐のために近づくが…。メキシコ映画黄金期の人気ジャンルである「ルンベラ」映画の巨匠アルベルト・ゴウト(1913-66)の作品。ルンベラ映画はハリウッドのフィルム・ノワールに社会批評的観点を付加したようなジャンルの特徴を有する。



監督・共同脚本：アルベルト・ゴウト  
 1951 / 96分 / 白黒

**2/9 日 14:00** **2/14 金 11:00** **Macario**  
 ロベルト・ガバルドン監督の異色作。メキシコ植民地時代、一家が飢饉の危機に瀕し、絶食を宣言した家長のマカリオ。心配した妻は七面鳥を盗んでマカリオに渡すが、その後、マカリオの前に3人の使者(紳士)を装った悪魔、老いた神、農民を装った死神)が現れて彼を次々に誘惑する。



監督・共同脚本：ロベルト・ガバルドン  
 1959 / 91分 / 白黒

**2/7 金 14:00** **2/15 土 17:00** **Misterios de ultratumba**  
 1940年代からミュージカルやアクションなど娯楽映画を量産し、『獣人ゴリウ男』(1956)のヒット以降は恐怖映画を数多く手がけたフェルナンド・メンデス(1908-66)の監督作。死後の世界を探索する医師が亡くなった友人に冥界を見る機会を与えられるが、それには予期せぬ代償が伴うのだった。




監督：フェルナンド・メンデス  
 1959 / 82分 / 白黒

**2/2 日 14:00** **2/20 木 11:00** **Santo VS. las mujeres vampiro**  
 1950年代以降、メキシコ映画の一大ジャンルとなった「ルチャ・リブレ(プロレス)」ものの一本で、国民的英雄であるレスラー、エル・サントの映画界での人気をも決定づけたヒット作。200年の眠りから目覚めた吸血美女軍団に狙われる女性を救うべくサントが大奮戦を繰り広げる。



監督：アルフォンソ・コロナ・ブレイク  
 1962 / 90分 / 白黒

**2/8 主 14:00** **2/20 本 14:00** **Los caifanes**  
 上流階級のカップルが偶然知り合った4人の無軌道な男たち(ロス・カイファネス)とともにめくるめく夜のメキシコシティに繰り出していく。ファン・イバニェス(1938-2000)の長篇第1作で、1960年代を代表するメキシコ映画のひとつ。



監督・脚本：ファン・イバニェス  
 1966 / 102分 / カラー

**2/8 主 14:00** **2/20 本 14:00** **女性映画コレクティブ (Colectivo Cine Mujer) 作品集** (計155分)  
 1975年にメキシコ国立自治大学映画研究センター(CUEC)で学ぶフェミニストや映像作家たちを中心に始まった女性映画コレクティブ(Colectivo Cine Mujer)の作品集。コレクティブによる第1作である『女のこと』では、当時違法とされていた中絶について当事者がつまびらかに語る様子が記録されている。続く『沈黙を破る』ではレイプ被害を題材にし、『台所の悪』では女性の家事労働について、また『快樂のためではない』ではセックスワーカーへ取材するなど、当時公の場で語る事が難しかった題材を次々と取り上げ議論を呼んだ。



監督・脚本：ロサ・マルタ・フェルナンデス  
 1975 / 42分 / 白黒

**2/5 水 14:00** **2/11 火・祝 14:00** **女のこと**  
 Cosas de mujeres  
 監督・脚本：ロサ・マルタ・フェルナンデス  
 1975 / 42分 / 白黒

**2/6 木 14:00** **2/11 火・祝 11:00** **台所の悪**  
 Vicios en la cocina  
 監督・脚本：ペアトリス・ミラ  
 1978 / 24分 / 白黒

**2/6 木 14:00** **2/11 火・祝 11:00** **沈黙を破る**  
 Rompiendo el silencio  
 監督：ロサ・マルタ・フェルナンデス  
 1979 / 38分 / 白黒

**2/6 木 14:00** **2/11 火・祝 11:00** **快樂のためではない**  
 No es por gusto  
 監督・脚本：マリア・デル・カルメン・デ・ララ、マリア・コウヘニア・タメス  
 脚本：ファン・ロペス、ラウラ・ロセッティ、アルフォンソ・モラレス  
 1981 / 51分 / 白黒

**2/2 日 11:00** **2/14 金 14:00** **アルカルタ 鮮血の女修道院**  
 悪魔に憑かれた娘が修道院を破壊に導いていく。ファン・ロペス・モクテスマ(1929-95)は、アレハンドロ・ホドロフスキー「エルトポ」(1970)などの共同プロデューサーを務めた。前衛的な怪奇映画を監督した。なかでも物語を醸したこの作品は、ギレルモ・デル・トロが若氣に入り、一作に挙げるなどカルト的なファンを持つ。



監督・共同原案・共同脚本：ファン・ロペス、モクテスマ  
 1977 / 78分 / カラー

**2/2 日 11:00** **2/14 金 14:00** **Alucarda**  
 悪魔に憑かれた娘が修道院を破壊に導いていく。ファン・ロペス・モクテスマ(1929-95)は、アレハンドロ・ホドロフスキー「エルトポ」(1970)などの共同プロデューサーを務めた。前衛的な怪奇映画を監督した。なかでも物語を醸したこの作品は、ギレルモ・デル・トロが若氣に入り、一作に挙げるなどカルト的なファンを持つ。



監督・共同原案・共同脚本：ファン・ロペス、モクテスマ  
 1977 / 78分 / カラー

**2/8 主 14:00** **2/21 金 14:00** **黄金の鶏**  
 ガルシア・マルケスと並ぶラテンアメリカ文学の巨星ファン・ルフォの原案による、名匠アステインの『宿命3部作』の第1作。極貧の生活を送る主人公が、傷つて食用に買った鶏を世話して、最強の闘鶏に育てたことから始まっていく栄光と執着、転落の人生を描く。



監督：アルトゥーロ・リブス테인  
 1986 / 131分 / カラー



現代映画の特異点であり続ける映画制作集団スピリチュアル・ムービーズと／あるいは井土紀州による初期作から最新作までを一挙上映し、その唯一無二の足跡を辿る。

アーカイブ・コレクションPart 18

井土紀州 and/or スピリチュアル・ムービーズ

会期：2月22日(土)～3月2日(日)

※休館日・休映日除く

◎特に表記のないもの  
製作：スピリチュアル・ムービーズ  
監督：井土紀州

特別料金プログラム  
一般1400円/学生・各種割引700円

2/24 月・休 14:00

※上映後トークイベント  
登壇：井土紀州(映画監督・脚本家)、吉岡文平(プロデューサー/スピリチュアル・ムービーズ代表)ほか

漂着物



202X年、オリンピックの喧騒は過ぎ去り、様々な廃墟と凄まじい量の廃棄物が残された首都・東京。西澤修也は、海辺の廃墟に住みつき、流れ着いたゴミを拾って生計を立てて暮らす。修也の生活圏に、一人の女・咲が迷い込んできた。言葉を交わし、触れ合ううちに、二人の過去が次第に明らかになり、のっぴきならぬ事態に二人を追い込んでいく。

2017年 / 32分 / カラー / デジタル

雲がくれ (新作初上映)



あずさは連絡が取れなくなった彼氏のアパートを訪ねると、留守らしく応答はない。諦めて帰ろうとすると、彼氏が着ているはずの服を着た男を見かける。どうしても彼氏の居場所をつきとめたいあずさはその男に頼み込み、大家とともに彼氏の部屋に入った。そして、3人がそこで見つけたものは…。

2025年 / 40分 / カラー / デジタル

2/23 日 11:00

第一アパート



男は正体不明の不安と頭痛に悩まされている。その謎を解く鍵は、男が幼少期を過ごした場所にあった。男は謎を解明するため故郷に向かう。『百年の絶唱』につながっていく様々なモチーフがモノクローム/パートカラーの映像で重層的に描かれていく。1992年の上映時には崔洋一や青山真治らに絶賛された。

1992年 / 映像集団パイマツ / 58分 / パートカラー / デジタル

人に歴史あり ~十八歳の暗黒



第3回ガンダーラ映画祭に向けて2008年に製作された短篇作品。カメラなし撮影なし、という異色作に井土の妄想力が炸裂する。新聞社会面片隅の記事から、井土は事件の真相と時代の関わりを探っていくが…

2008年 / 10分 / カラー / デジタル

2/22 土 17:00

3/1 土 17:00 ※3/1は英語字幕版

百年の絶唱



うち棄てられた「物」や「土地」に宿る怨念を描いた、痛切な魂の物語。1998年に渋谷ユロススペースで公開され、僅か8日間の上映にもかかわらず、およそ1,000人もの観客を動員した1990年代屈指の映画。8ミリフィルムゆえに上映が限定されている。当館が作製した16ミリ版と、特別に英語字幕版も上映する。

1998年 / 87分 / カラー / いずれも16ミリフィルム上映

2/27 土 11:00

LEFT ALONE 1

2005年 / 93分 / カラー / デジタル



『1』では、ニューレフトの誕生から、花田清輝と吉本隆明の論争、68年の安保闘争に至る過程を紐(すが)秀実、松田政男、鎌田哲哉、柄谷行人、西部邁とともに様々な角度から検証する。『2』では、68年革命の思想と暴力という問題、1970年7月7日の華僑青年闘争委員会に始まる在日朝鮮人・中国人等に対する反差別闘争の衝撃、毛沢東主義の新たな可能性から、2000年代の大学再編と自治空間の解体をめぐる、ニューレフトの行方が、紐秀実、松田政男、柄谷行人、津村喬、花咲政之輔によって語られていく。

2/27 木 14:00

LEFT ALONE 2

2005年 / 109分 / カラー / デジタル



3/1 土 11:00

ラザロ -LAZARUS-

蒼ざめたる馬 篇(40分)  
複製の廃墟 篇(80分)



社会からはみだした女たちを組織し、資産家の子息を殺してその財産を奪い、偽札をばら撒いて経済テロを目論む。この世界の破滅とその後訪れるであろう再生を希求する女、マユミ。この三篇の物語は、彼女の闘争の記録であり、愛と憎しみの軌跡であり、彼女の意志に共鳴した女たちの精神の叫びである。

3/1 土 14:00

ラザロ -LAZARUS-

朝日のおたる家 篇(81分)

2007年 / 京都国際学生映画祭2003運営委員会、伊勢映画人会、スピリチュアル・ムービーズ / 201分 / デジタル

3/2 日 11:00

犀の角



高校生・鈴江崇が住む町に、「カフ・サマージ」と称する宗教団体が移住してきた。謎めく教団の活動に、地元住民は警戒心を強めていく。ひよんなことから崇は信者である少女と交流を重ねる。少女の抱える心の闇に触れ、次第に惹かれていく崇。一方、教団に対する嫌がらせは日を追ってエスカレートしていった。

2009年 / 日本映画学校(現・日本映画大学) / 53分 / デジタル

土竜の祭



ホームヘルパーの朝子、霞、千晴。担当する熊谷老人からお金を振り込んできてくれないかと頼まれ、朝子は、足が不自由な熊谷に代わってお使いに出かける。すると、街で友人に出会い、「借りっぱなしのお金を返して」と迫られ、手持ちのない朝子は、思わず預かっていたお金を使ってしまう。

2009年 / 映画美学学校 / 51分 / デジタル

2/23 日本 14:00

※上映後トークイベント

登壇：井土紀州(映画監督・脚本家)、吉岡文平(プロデューサー/スピリチュアル・ムービーズ代表)ほか

ヴェンダースの友人



ヴィム・ヴェンダースの幻の初期作品が一日だけ東京で上映された。そこで井土は、ある友人と10年ぶりの再会を果たす。その後大阪へと帰郷した彼を訪ねて行われた二人の対話や、彼の3人の友人たちの会話を軸に、「映画における歌」を考察していく。

2000年 / 75分 / カラー / デジタル

2/24 日本 11:00

行旅死亡人



滝川ミサキは、ノンフィクション作家を目指す24歳。ある朝、奇妙な電話がかかってきた。なんと、彼女の名を名乗る女が重病で入院したらしい。友だちのアスカとともに病院を訪ねた彼女は、そこに意外な人物を発見する。彼女は一体なぜ、他人になりすまして生活しなければならなかったのか?

2009年 / 日本ジャーナリスト専門学校 / 105分 / デジタル

3/2 日 14:00

泥の惑星



農業高校に通うハルキ達は毎日泥まみれになってレンコンを収穫し、なんとなく楽しく過ごす日々。ある日、ハルキは天文部の転校生、アキに一目惚れしてしまう。そうして回り始めたハルキの歯車につられるようにして、仲間達の歯車もまた回り始める。一方、校内の植物は原因不明のまま枯れ始める。

2010年 / 日本映画学校(現・日本映画大学) / 53分 / デジタル

路地へ

中上健次の残したフィルム



小説家・中上健次(1946-1992 / 「枯木灘」「地の果て至上の時」)が生まれ、その小説の舞台とした路地がかつてあった場所で、海で、中上の小説を、紀州のイントネーションで読み、彷徨し、途方に暮れる。そして、ふと幻でも見るように「路地」を目にする。

2000年 / SLOW LEARNER, BRANDISH / 64分 / 35mmフィルム上映

通年上映

作家の福岡来訪に合わせ、2023年収蔵の「霧」、監督によるトークとQ&A付きで上映します。

アーカイヴ発見

2/8 土 17:00

※上映後ホセ・バラド監督によるトーク、Q&A

霧 Mist



ペルー北部の海岸の漁に関わる3つのストーリーを通して、先祖から受け継がれた漁業に携わる人々を観察するビジュアル・ドキュメンタリー。ペルー文化省のドキュメンタリー制作奨励賞福岡市総合図書館収蔵作品(2018年)のほか、世界各地の主要な映画祭で上映され、多数の賞を得ている。

監督：ホセ・バラド  
2021 / ペルー / 70分 / カラー / 日本語字幕付き / DCP上映

ホセ・バラド

José Balado Díaz  
ドクペルー(DOCUPERU)創設者 / 代表。  
映画監督、サウンドデザイナー、大学教授。



2003年ヒメナ・モウラとドクペルーを結成し、地域の人々や歴史に密着し、ラテン・アメリカ諸国で350本以上のドキュメンタリーを制作している。ドクペルーとして、2022年度福岡アジア美術館レジデンス事業招へい。現在、『THE TRIBE OF THE SUN』(劇映画)、『DOGS WITH WALKIE TALKIES』(ファミリー・アニメーション・シリーズ / 実写)、『Una Laura, Un Pedro y un José』(ドキュメンタリー)などを企画開発中。



2・3月

上映スケジュール



29水	11:00 パンチョ・ピリヤと進め	14:00 次の夜明けに	
30木	11:00 官能	14:00 忘れられた人々	
31金	休館日		
2/1土	11:00 港の女	13:30 アジア文化講演会 「ホセ・リサル」上映 講演会+対談	
2日	11:00 アルカルダ 鮮血の女修道院	14:00 エル・サント対吸血鬼女	
3月	休館日		
4火	休映日		
5水	11:00 愛しき人よ!	14:00 上映前解説+ 女性映画コレクティブ(Collectivo Cine Mujer)作品集	
6木	11:00 上映前解説+ 誰の女でもない	14:00 街娼	
7金	11:00 制服の処女	14:00 上映前解説+ 死後の世界の謎	
8土	11:00 上映前解説+ ロス・カイファネス	14:00 黄金の鶏	17:00 霧+監督トーク・Q&A
9日	11:00 マリア・カンデラリア	14:00 マカリオ	
10月	休館日		
11火	11:00 街娼	14:00 女性映画コレクティブ(Collectivo Cine Mujer)作品集	
12水	休映日		
13木		14:00 港の女	
14金	11:00 マカリオ	14:00 アルカルダ 鮮血の女修道院	
15土	11:00 愛しき人よ!	14:00 官能	17:00 死後の世界の謎
16日	11:00 忘れられた人々	14:00 制服の処女	
17月	休館日		
18火	休映日		
19水		14:00 マリア・カンデラリア	
20木	11:00 エル・サント対吸血鬼女	14:00 ロス・カイファネス	
21金	11:00 パンチョ・ピリヤと進め	14:00 黄金の鶏	
22土	11:00 次の夜明けに	14:00 誰の女でもない	17:00 百年の絶唱
23日祝	11:00 第一アパート 人に歴史あり~十八歳の暗黒	14:00 ヴェンダースの友人+トークイベント	
24月休	11:00 行旅死亡人	14:00 (特別料金) 漂着物/雲がくれ+トークイベント	
25火	休館日		
26水	休映日		
27木	11:00 LEFT ALONE 1	14:00 LEFT ALONE 2	
28金	休館日		
3/1土	11:00 ラザロ -LAZARUS- 蒼ざめたる馬 篇 複製の廃墟 篇	14:00 ラザロ -LAZARUS- 朝日のあたる家 篇	17:00 百年の絶唱 〈英語字幕版〉
2日	11:00 犀の角 土竜の祭	14:00 泥の惑星 路地へ-中上健次の残したフィルム	
3月▶10月	休館日(図書整理期間)		
11火▶29土	休映日 ※3/17月・3/24月は休館日		
30日	自主上映/福岡映画サークル協議会		
31月	休館日		

企画上映/メキシコ映画の大回顧

企画上映/アーカイヴ・コレクション Part 18 井土紀州 and/or スピリチュアル・ムービーズ

イベント上映/2024年度福岡アジア文化講演会

通年上映/アーカイヴ発見

イベント上映

# 2024年度 福岡アジア文化講演会

主催:一般財団法人福岡ユネスコ協会 共催:福岡市教育委員会、  
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ実行委員会  
協力:福岡アジア文化賞委員会

◎観覧料:一般=1,000円/学生・留学生=500円(要身分証提示)  
※講演会と映画上映はセット料金/講演のみ・上映のみでも同観覧料  
※高齢者・障がい者割引なし

## アンベス・R・オカンポ Ambeth R. Ocampo

1961年マニラ生まれ。デラサール大学でフィリピン学の修士号を取得。歴史家、学者、文化行政官、ジャーナリスト、作家、インディペンデント・キュレーターなど歴史だけではなく広範な分野で活動する知識人。1985年から新聞にコラムを掲載し、コラムをまとめた『Looking Back(過去を振り返る)』『Rizal Without the Overcoat(外套を脱いだリサル)』を1990年に出版し、その後もフィリピンの歴史やフィリピンの芸術についての著作を数多く出版している。フィリピンの国民的英雄ホセ・リサルについては、『外套を脱いだリサル』をはじめとしてリサルの生涯と作品に焦点を当てた著作を数多く出している。2016年福岡アジア文化賞学術研究賞受賞。



オカンポ氏

## ◎タイムテーブル

2025年2月1日(土)

13:00 受付開始・開場

13:30 映画上映「ホセ・リサル」  
(1998 / フィリピン /  
178分 / 福岡市総合図書館  
収蔵作品 / マリルー・  
ディアス=アバヤ 監督  
(2001年福岡アジア文化  
賞芸術・文化賞受賞者))



16:55 オカンポ氏による講演(45分/同時通訳):「ホセ・リサル、歴史家から見た真実の顔」

17:45 対談(45分/同時通訳):オカンポ氏、鈴木勉氏  
(すずき・べん / 国際交流基金マニラ日本文化セン  
ター所長 / フィリピン映画研究者)



鈴木勉氏

## ◎申込方法

催し名(「ホセ・リサル」)、氏名(参加者全員)、連絡先(FAXまたはメールアドレス等)を明記の上、メールかFAXでお申し込み下さい。  
メールアドレス:fuunesco2014@gmail.com  
FAX:092-733-1291 問合せ:092-715-8768(平日10~17時)

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表) Tel.092(852)0600 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



**交通アクセス**

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄  
西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス  
●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分  
●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話0570-00-1010)に直接お問い合わせください。

助成: 公益財団法人 西日本シティ財団

発行:映像ホール・シネラ実行委員会  
※グリーン購入法に適合している用紙を使用しています